

明るい選挙

啓発ポスターコンクール

平成29年度  
全国優秀作品集



公益財団法人 明るい選挙推進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



# ごあいさつ



公益財団法人明るい選挙推進協会会長 **佐々木 毅**

公益財団法人明るい選挙推進協会は、都道府県選挙管理委員会連合会との共催で、全国の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒を対象に、平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しました。ご協力いただきました全国の選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会及び教育委員会・学校の皆様に御礼申し上げますとともに、応募して下さった児童生徒の皆さんに感謝申し上げます。

このコンクールの目的は、明るい選挙を実現するためのポスターを描くことで、将来の有権者である児童生徒の皆さんに選挙、政治への関心を持ってもらうきっかけを作ることです。

29年度の応募学校数は8,957校、応募者数は146,338人でした。14万人を超える皆さんの応募があったことは、28年7月に執行された参議院議員通常選挙が、公職選挙法の改正により70年ぶりに選挙権年齢を18歳以上に引き下げられて行われた初めての国政選挙となり、一部高校生も有権者として投票に参加されるなど関心が高まったことによるものと考えられます。選挙を身近なものとして、日ごろから関心を持ってもらえるよう期待したいと思います。

審査は、市町村における第1次審査、都道府県における第2次審査、当協会における中央審査を経て、文部科学大臣・総務大臣賞（連名）18作品、公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（連名）60作品を決定しました。都道府県、市区町村においても、それぞれ賞を設け、表彰式や展示会が行われました。

この作品集は、次回以降の作品募集に資するため、大臣賞・会長賞を一冊にまとめたものです。主権者教育の一環としてもご活用いただければ幸いです。

# 目次

ごあいさつ .....	2頁
目次 .....	3頁
明るい選挙 .....	4頁
明るい選挙啓発ポスターコンクールの意義と第3次審査の視点 .....	6頁
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 東良雅人	
平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集要項 .....	9頁
平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクール応募状況 .....	10頁
全国優秀作品	
文部科学大臣・総務大臣賞 .....	11頁
明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞 .....	30頁

# 明るい選挙

## 明るい選挙

民主政治は、国民の意思によって政治のあり方が決まる政治です。代表民主主義国家においては、選挙によって選ばれた代表によって政治が行われますが、主権は国民にあります。選挙は国民が政治に参加する最大の機会であり、民主主義の根幹をなすものです。

国や地方の政治が私たちの意見や要望を踏まえて適正に行われるためには、選挙が公正に行なわれ、代表として相応しい立派な人が選ばれなければなりません。そのためには、国民一人ひとりが選挙制度を正しく理解し、政治や選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策を正確に見る眼を備え、大切な自分の一票を進んで投票することが必要です。買収や供応などの不正に惑わされたり、義理人情で投票してはならないことは言うまでもありません。

「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

## 明るい選挙推進運動

選挙を明るく正しいものにしようとする運動は古くから行われ、大正時代末に行われた後藤新平の「政治の倫理化運動」、青年団の父と呼ばれた田澤義鋪らによる「選挙肅正同盟会」などの活動がその起りです。

男女普通選挙が実現した第2次世界大戦後、昭和26年に行われた統一地方選挙で、選挙違反の検挙者が6万人を超えました。その翌年に予定されていた衆議院選挙に向けての事前運動も激しく行われたので、これではいけないという国民の声が強くなり、新聞社の支援や国会の決議もあって、官民あげての「公明選挙運動」が展開されることになりました。その後名称を「明るい選挙推進運動」と変更し、現在約8万人の方々がボランティアとして参加し、3つの目的を掲げて活動しています。

- ①有権者が、普段から政治と選挙に関心をもち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこと。
- ②有権者が、こぞって投票に参加すること。
- ③選挙違反のないきれいな選挙が行われること。

運動の発端であった「きれいな選挙」については、選挙違反の数は減ってきておりますが、皆無になったわけではありません。「こぞって投票に参加すること」については、近年投票率の低下が大きく、運動の重点はこちらに移ってきています。「普段から政治と選挙に関心をもってもらう」については、粘り強く活動していかなければと考えています。

## ● 明るい選挙推進協議会 ●

明るい選挙推進運動は、全国ほとんどの市区町村に設置されている明るい選挙推進協議会によって進められています。団体によりその構成は違いますが、自治会、女性団体、老人会、青年団など各種団体、公民館などの社会教育関係者、地方紙などマスコミ関係者などで構成されています。教師OB、PTA代表者、公募による参加者もいます。

日常的には身近な暮らしの問題をテーマとする話し合い活動や議会傍聴、政治・選挙に関する講演会の開催、市民まつりなどイベントでの呼びかけなどを行っています。選挙時には駅前など街頭に立ち、投票参加や違反のない選挙を呼びかけています。

啓発ポスターについては、ところによっては明るい選挙推進協議会の委員が、作品募集の依頼のために学校を訪問したり、審査員に加わるなどしております。

また、プレ有権者に対する取り組みとして、小学校、中学校、高校の授業時間、生徒会選挙などにおいて、選挙の仕組みを教えたり、実際の投票箱等を使用して模擬選挙を行うなどの出前授業にも取り組んでいるところもあります。

## ● 明るい選挙推進協会 ●

明るい選挙推進協会は、全国の都道府県・市区町村の「明るい選挙推進協議会」を会員とした公益財団法人です。明るい選挙推進運動の全国組織として、明るい選挙の実現を目標に、全国約8万人のボランティアの方々とともに活動しています。

# 明るい選挙啓発ポスターコンクールの 意義と第3次審査の視点

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 東良 雅人

## ●はじめに

今年度、本コンクールには全国の小学校、中学校、高等学校から146,338点の作品の応募がありました。このように、たくさんの子供たちの政治や選挙権への関心が高まっていることは本当に喜ばしいことだと思います。

## ●子供の表現に耳を傾ける

自分の経験も含めて、子供が描いた絵を手で「見て！見て！」と持ってくることはよくあることだと思います。皆さんはその時に子供にどうしてあげるのでしょうか。色々なことが考えられる中で「上手に描けたね」と褒めてあげることが比較的多いのかもしれません。絵を褒めてあげると子供たちにとっても喜びにつながるとても大切なことです。そのことによって、子供たちの「もっと描いてみよう」、「今度はあれを描いてみよう」という表現に対する興味や関心、意欲を高めることにもつながっていくのだと思います。でも、子供が描いた絵をまた持ってきたら今度はどうするでしょう。また、「上手に描けたね」でしょうか。

子供たちの表現とは、単に見たことだけを描いているのではなく、自分の感じたことや考えたこと、夢や想像などの心の中で作りだされたものを形や色などで表出する行為です。表現には絵だけ見てわかるものだけが繰り返り広げられているわけではありません。表現の中には、子供が思い描いた物事の筋道や背景、子供を取り巻く周辺の状況など、いわば文脈のようなものが多く含まれています。そのことを考えると「上手に描けたね」と褒めてあげるとともに、「これは何が描いてあるの」と子供に聞き、子供たちの絵に耳を傾けて欲しいと思うのです。子供たちに「絵のお話を聞かせて」と言うと、子供たちはきっとうれしそうに表現に隠された思いや願いを語ってくれることでしょう。そして、表現とは単に上手に描くことだけが大切なのではなく、形や色、イメージを通して人と人とを繋ぐ大切な営みなのだということを実感することにつながっていくのだと思います。

この明るい選挙啓発ポスターコンクールは、形や色を使って、伝えたい内容を表現する視覚伝達の手段の一つであるポスターを表現方法としています。ポスターは、自分の思いや考えなどを相手に伝えるものです。子供たちがポスターを描くとき、単に絵を描くことだけにとどまらず、そこには一人一人の子供たちが自己の思いや考えをもったり、選挙というテーマを基に発想や構想したりするなど、子供一人一人の文脈がそこにあり、その過程において様々な学びが生まれます。このポスターコンクールの審査では、単に完成度だけを見るのではなく、それぞれの作品の制作の過程において、子供が何に気付き、考え、何を学んだのかを見つめることを大切にしています。それは、これからの社会をつくる子供たちを育てていくことにもつながっていくと考えるからです。

## ●ポスターコンクールの意義と教育的な価値

平成28年12月21日に中央教育審議会が示した「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（以下答申という）は、2030年の社会と、そして更にその先の豊かな未来において、一人一人の子供たちが、自分の価値を認識するとともに、相手の価値を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、よりよい人生とよりよい社会を築いていくために、教育課程を通じて初等中等教育が果たすべき役割を示しています。答申では、「第2章 2030年の社会と子供たちの未来（予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となる）」に以下のような記述があります。

“とりわけ最近では、第4次産業革命ともいわれる、進化した人工知能が様々な判断を行ったり、身近な物の働きがインターネット経由で最適化されたりする時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予測がなされている。“人工知能の急速な進化が、人間の職業を奪うのではないか”“今学校で教えていることは時代が変化したら通用しなくなるのではないか”といった不安の声もあり、それを裏付けるような未来予測も多く発表されている。”

子供たちが、これから生きていく社会では、解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解ける力を育むだけでは十分ではなく、社会の加速度的な変化の中でも、社会的・職業的に自立した人間として、伝統や文化に立脚し、高い志と意欲を持って、蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められているといえます。

また、同章には、以下のような記述があります。“人工知能がいかに進化しようとも、それが行っているのは与えられた目的の中での処理である。一方で人間は、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出すことができる。多様な文脈が複雑に入り交じった環境の中でも、場面や状況を理解して自ら目的を設定し、その目的に応じて必要な情報を見だし、情報を基に深く理解して自分の考えをまとめたり、相手にふさわしい表現を工夫したり、答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだしたりすることができるという強みを持っている。”

図画工作や美術などにおける表現活動とは、単に決まった答えを求めるものではなく、子供たち自身が感性を働かせて目的を自ら考え出し自分で答えをつくり出す活動です。そしてその過程はこのコンクールでいうと、単にポスターの描き方や選挙のことだけを学ぶだけにとどまることなく、多様な文脈の中で自分と社会や世界との関係性を実感することのできる子供たち一人一人の生き方と関わる学びでもあるのです。また、このような創造活動を通して育まれた資質・能力は、答申が述べているような生活や社会の変化とともにグローバル化する中で世界と向き合うことが求められてくる社会と豊かに関わっていくために必要な資質・能力として、生涯にわたって生きて働くものとなっていくものであり、ここにポスターコンクールの意義と教育的な価値があるのではないかと思います。

## ●子供たち一人一人が強く心の中に表したいことを思い描くこと

中学校美術科の教科の目標の中に「美術の創造活動の喜び」という文言があります。創造活動は、新しいものをつくり出す活動であり、創造活動の喜びは美術の学習を通して生徒一人一人

が楽しく主体的、個性的に自己を発揮したときに味わうことができるものです。すなわち、表現の活動においては、ただ自由に表現するというのではなく、自己の心情や考え、他者への思いや願い、イメージ、知識などを基に子供たち一人一人が強く心の中に表したいことを思い描くことをしっかりと意識して考え、それぞれの考えを交流するなどして深めながら自分の表現方法で作品として実体化されたときに実感することができるのだと思います。

創造活動の喜びは、単に上手に絵を描けば味わえるというのではなく、子供たち一人一人が「やるべきこと」を理解し、その中で一人一人の子供が強く心の中に表したいことを思い描く「やりたいこと」を見付け、そしてそれが「やれたとき」に味わうことができるものです。そして、このような「やるべきこと」を理解し、「やりたいこと」を見付け、それが「やれること」ができるといった活動の主体者の内面に重点を置いた活動を展開する中で、新しいものをつくりだしたいという意欲とそれを実現するための資質・能力が調和して働いたときに豊かに味わうことができるとともに、その過程において学びを実感することができるようになります。

ポスターコンクールを単によい作品を選抜するだけの場ではなく、子供たちを育てるための場とするためには、単に技術的なことだけでなく、子供たちの伝えたい思いや願いを充実感や成就感を伴うものとして特に重視しなければなりません。また、創造したものが心や生活に潤いをもたらしたり役立ったり、他者に認められたりしたときも創造活動の喜びや自己肯定感を強く感じるものであることから、今後も子供たち一人一人が強く心の中に表したいことを思い描くことを大切にしていきたいと思います。

## ●おわりに

コンクールでの審査会では、小学校1年生から高校3年生までの幅広い年齢の作品を見させていただきました。応募作品はそれぞれの年齢での表現のよさがあり、その時期だからこそ感じられることや考えられることを大切に表現しました。どの作品も子供たちが「明るい選挙」という共通のテーマを基に創造性や独創性を発揮した力作ばかりで、毎年そうなのですが、審査に当たってはどの年齢の作品を選ぶときも大変苦労いたしました。審査では、先に述べましたように創造活動の過程を重視し、単に技術的に優れていることだけを評価するのではなく、まずはそれぞれの発達の段階における子供の表したいことやものが感じられるかどうかや、意欲や感性、描くことを通して発揮した発想や構想に関する資質・能力や創造的に表す技能など、創造活動の過程を通じた学びを総合的に作品から読み取るように努力しました。

このような質の高い作品が多数応募されるこのコンクールが長年にわたって続けられている背景には、主催者を始め関係者の方々の多大なご努力と、選挙啓発というテーマの重要性を理解して、ご指導いただいた保護者や学校の先生方等の多くの方々のご指導や支援があったからだと思います。今回のコンクールに応募した子供たちは「明るい選挙」というテーマから自分の身の回りや社会に目を向け、自分自身が感じたことや考えたことなどから創造的に発想や構想をし、材料や用具を工夫したり新たな表現方法を考えるなど試行錯誤したりしながらそれぞれの個性やよさを生かして表現したことと思います。このような子供たち一人一人のよさや可能性、個性の伸張につながるポスターコンクールが今後も引き続き開催されることを心から願っております。

# 平成29年度明るい選挙啓発ポスター 作品募集(第69回)要項

## ①趣旨

私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、立派な政治が行われなければなりません。その政治は選挙によって選ばれた人たちによって行われます。だから選挙が明るく正しく行われなければなりません。そこで、全国の児童、生徒の皆さんに、明るい選挙を呼びかける印象的なポスターをかいていただきたいのです。

## ②応募規定

### (1)内容

明るい選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。

### (2)応募資格

小学校児童、中学校・高等学校の生徒

### (3)募集期間

平成29年5月8日(月)から29年9月8日(金)まで

### (4)締切日と提出先

平成29年9月8日(金)までにあなたの住んでいる市区町村または通学している学校のある市区町村の選挙管理委員会に提出してください。(市区町村によって異なることがありますので、詳しくは最寄りの選挙管理委員会にお尋ねください)

### (5)画材

描画材料は自由(紙や布など、絵の具材料だけに限りません)

### (6)大きさの基準

画用紙の四ツ切(542mm×382mm)、ハツ切(382mm×271mm)もしくはそれに準じる大きさ

### (7)応募上のご注意

- ①作品のうら右下に、都道府県名、学校名、学年、氏名(ふりがな)を必ず記入してください。
- ②応募作品は、原則として返却しません。
- ③入賞作品の著作権は主催者に属し、作品は自由に利用させていただきます。
- ④入賞者の学校名、学年及び氏名を公表させていただきます。

## ③審査

### (1)第1次審査

各市区町村選挙管理委員会において、小・中・高別に選びます。

### (2)第2次審査(地方審査)

各都道府県選挙管理委員会において、小・中・高別に応募数に応じ、所定の点数を選んだうえ、第3次審査(中央審査)へ提出します。

### (3)第3次審査(中央審査)

第2次審査で選ばれた作品について、下記審査員により入賞作品を決定します。  
文部科学省・総務省・公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表審査員

## ④賞

### (1)小・中・高別に次の賞を贈ります。

①文部科学大臣・総務大臣(連名)の賞状と公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長(連名)からの副賞  
小学校 各学年1名 中学校 各学年2名 高等学校 各学年2名

②公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長(連名)の賞状と副賞  
小学校・中学校・高等学校 各学年若干名

### (2)第3次審査(中央審査)に提出された方全員に、公益財団法人明るい選挙推進協会会長から記念品を贈ります。

## ⑤発表

11月初旬の予定

主催 公益財団法人 明るい選挙推進協会 都道府県選挙管理委員会連合会  
都道府県選挙管理委員会 市区町村選挙管理委員会  
後援 文部科学省 総務省 都道府県教育委員会 市区町村教育委員会

# 平成 29 年度明るい選挙啓発ポスターコンクール (第 69 回) 応募状況

都道府県	応募学校数				応募者数				中央審査 出数				
	小学校	中学校	高 学校	計	小学校	中学校	高 学校	計	小学校	中学校	高 学校	計	
北海道東北	北海道	40	53	4	97	734	443	15	1,192	7	5	2	14
	青森県	14	24	8	46	96	160	43	299	3	3	5	11
	岩手県	67	25	7	99	1,037	186	151	1,374	9	3	10	22
	宮城県	93	65	4	162	415	563	39	1,017	5	6	4	15
	秋田県	13	21	6	40	117	149	98	364	3	3	8	14
	山形県	90	53	7	150	658	1,065	39	1,762	6	9	4	19
	福島県	43	48	3	94	117	589	13	719	3	3	2	8
関東甲信越静	茨城県	279	148	9	436	1,773	2,194	52	4,019	11	12	6	29
	栃木県	248	122	5	375	1,622	918	27	2,567	11	8	1	20
	群馬県	190	146	7	343	2,288	5,880	50	8,218	12	18	1	31
	埼玉県	347	162	23	532	6,599	2,858	100	9,557	24	15	8	47
	千葉県	237	92	8	337	1,252	1,028	12	2,292	9	9	2	20
	東京都	428	313	44	785	9,629	11,639	911	22,179	30	34	29	93
	神奈川県	111	74	14	199	1,407	886	50	2,343	10	7	5	22
	山梨県	103	60	2	165	2,131	2,324	24	4,479	12	12	3	27
	長野県	162	56	5	223	3,849	665	57	4,571	18	6	6	30
	新潟県	57	32	4	93	279	247	4	530	3	3	1	7
	静岡県	190	121	17	328	1,286	1,202	176	2,664	10	10	5	25
東海北陸	富山県	53	48	4	105	210	615	60	885	3	6	5	14
	石川県	18	20	6	44	60	143	168	371	3	3	11	17
	福井県	55	50	1	106	636	1,041	20	1,697	6	9	2	17
	岐阜県	87	68	8	163	629	637	122	1,388	6	6	9	21
	愛知県	731	358	19	1,108	7,534	9,714	511	17,759	26	30	21	77
	三重県	69	49	3	121	1,122	1,039	50	2,211	8	6	0	14
	滋賀県	16	30	2	48	32	553	4	589	3	6	1	10
近畿	京都府	75	40	7	122	1,080	884	72	2,036	9	5	2	16
	大阪府	148	76	20	244	3,217	3,641	522	7,380	16	17	21	54
	兵庫県	284	183	25	492	2,219	5,136	247	7,602	12	19	13	44
	奈良県	44	34	6	84	610	1,344	24	1,978	6	10	3	19
	和歌山県	8	11	7	26	187	70	89	346	3	3	7	13
中国	鳥取県	10	13	2	25	30	112	73	215	3	3	7	13
	島根県	11	18	2	31	143	210	4	357	3	3	1	7
	岡山県	29	42	5	76	125	520	24	669	3	6	3	12
	広島県	52	46	7	105	1,099	1,584	79	2,762	6	8	2	16
	山口県	57	30	7	94	118	357	130	605	3	4	4	11
四国	徳島県	86	45	2	133	483	775	4	1,262	5	7	1	13
	香川県	98	49	6	153	435	373	165	973	5	4	11	20
	愛媛県	131	59	16	206	793	720	167	1,680	7	7	11	25
	高知県	8	15	2	25	110	267	90	467	3	3	4	10
九州	福岡県	169	99	17	285	8,768	7,061	294	16,123	20	20	10	50
	佐賀県	83	41	8	132	679	571	101	1,351	6	6	9	21
	長崎県	44	41	10	95	109	708	45	862	3	7	5	15
	熊本県	30	18	3	51	61	117	4	182	3	3	1	7
	大分県	41	32	4	77	492	542	62	1,096	5	6	6	17
	宮崎県	74	35	3	112	398	261	28	687	4	3	3	10
	鹿児島県	54	35	6	95	242	717	31	990	3	7	4	14
	沖縄県	26	53	16	95	202	1,305	162	1,669	3	10	11	24
合 計	5,303	3,253	401	8,957	67,112	74,013	5,213	146,338	372	393	290	1,055	

※昨年度応募者数 157,296

## 文部科学大臣・総務大臣賞（18人）

学	県	氏	学校
小学1 生	鳥取県	前田 夏帆	日野郡日南町立日南小学校
小学2 生	千葉県	石井 瑠星	香取市立佐原小学校
小学3 生	東京都	石井 美宇	板橋区立緑小学校
小学4 生	栃木県	粕谷 泰生	矢板市立矢板小学校
小学5 生	徳島県	佐々木 銀河	吉野川市立川田中小学校
小学6 生	愛知県	奥村 紗帆	清須市立春日小学校
中学1 生	秋田県	齋藤 凜	横手市立増田中学校
	佐賀県	原 幸羅	武雄市立北方中学校
中学2 生	北海道	本間 鼓太郎	函館市立の場中学校
	愛知県	新原 杏梨	北名古屋市立師勝中学校
中学3 生	秋田県	伊藤 颯希	能代市立能代第二中学校
	香川県	福田 沙優里	丸亀市立東中学校
高校1 生	埼玉県	神藤 槇	県立芸術総合高等学校
	大阪府	康原 慈恩	大阪高等学校
高校2 生	石川県	山内 麻耶	県立工業高等学校
	長崎県	末永 大貴	県立島原工業高等学校
高校3 生	佐賀県	堀本 悠太	県立有田工業高等学校
	鹿児島県	東 春菜	県立鹿児島工業高等学校



小学1年生 前田 夏帆 鳥取県 日野郡日南町立日南小学校

えが 描かれた「せんきょにいこう」の言葉と投票用紙を持つ人たちがとてもカラフルで、見る人を楽しい  
絵の世界に連れて行ってくれます。この絵のようにみんなが心躍るような楽しい気持ちで選挙に向  
かってくれるといいですね。



小学2年生 石井 瑠星 千葉県 香取市立佐原小学校

どこを見ても笑顔がいっぱいで元気をもらえるポスターです。虹のような投票箱がこれからの明るい未来を映し出しているようです。まわりの虫たちも一生懸命に投票用紙を運んでいる姿が楽しいですね。



小学3年生 石井 美宇 東京都 板橋区立緑小学校

動物たちが投票する様子をそれぞれの特徴をよく捉えて描いています。木の上の高いところにある投票箱に小さな動物たちも投票できるように木にはしごがかけられているところに作者の優しさを感じますね。



小学4年生 粕谷 泰生 栃木県 矢板市立矢板小学校

日本にほんに生息せいそくする恐竜きょうりゅう、センキョニクノザウルスというアイデアが面白い作品です。一見すると怖こわそうきょうりゅうな恐竜きょうりゅうですが、鳴き声なごえが「キョキイッピョー」というのがちょっとかわいいですね。



小学5年生 佐々木 銀河 徳島県 吉野川市立川田中小学校

徳島県で400年の歴史を持つ阿波おどりをテーマにした発想が面白いですね。踊っている人のリズムカルな動きを上手に表現していて、画面から「ヤットサー」とかけことばが聞こえてきそうですね。



小学6年生 奥村 紗帆 愛知県 清須市立春日小学校

ひとりひとり いっぴょう みらい  
 一人一人の一票が未来をつくることにつながっていくことを色とりどりの投票用紙が表していま  
 す。まわりの えがお こうふく しょうちょう よ ぼ わたし もと みらい しめ  
 周りの笑顔と幸福の象徴である四つ葉のクローバーが、私たちが求めているこれからの未来を示  
 しているようです。



中学1年生 齋藤 凜 秋田県 横手市立増田中学校

輝くように光る子供の手とそれを支える大人の手を包み込むような淡い色の葉を配して、未来の子供を想う優しさを上手に表しています。また、「この子」と「一票」の赤い文字のアクセントが表現を高めています。



中学1年生 原 幸羅 佐賀県 武雄市立北方中学校

切り絵の技法を使ってシンプルに表していて、内容がよく伝わってきます。中央に描かれている投票箱を「未来箱」としている発想がとても独創的で、明るい選挙が未来をつくっていくイメージを上手に表現しています。



中学2年生 本間 鼓太郎 北海道 函館市立的場中学校

寺院内に仏敵が入り込むことを防ぐ守護神としての仁王像のちょっと怖そうなイメージと、「あ、選挙いった?」「うん、いって来た」のやりとりとのギャップがとても楽しく印象に残るポスターですね。



中学2年生 新原 杏梨 愛知県 北名古屋市立師勝中学校

幼いときにはわからなかったことが年齢を重ねていくうちにわかるようになるのが人の成長です。このポスターは、選挙権年齢の引き下げと自己の成長をテーマにしながら明るい選挙に対する重要性を伝えています。



中学3年生 伊藤 颯希 秋田県 能代市立能代第二中学校

18段の跳び箱を跳ぶ姿を描くことで、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられたことを表すアイデアが秀逸です。こちらに向かってくるような構図から勢いを感じられ、ポスターの世界に引き込まれます。



中学3年生 福田 沙優里 香川県 丸亀市立東中学校

私たち一人一人が責任を持って投票する一票の大切さを、紙の上に描かれた街並みが豊かで幸せな生活をおくる「未来を創る」街並みへと変わっていく様子で表現されていて、見る人の心をつかみます。



高校1年生 神藤 槇 埼玉県 県立芸術総合高等学校

十二支の動物たちの投票している様子がコミカルに描かれていて、大人から子供まで楽しめるポスターです。和風な松を描いたり投票用紙の持ち方も動物それぞれに工夫したりするなど、細かいところにも気を配って描かれています。



高校1年生 康原 慈恩 大阪府 大阪高等学校

「貴方の一票が未来を決める」の言葉とともに、油絵などに見られるような大変重厚感のある作品です。やや鮮やかさを抑えた赤を基調とした中に描かれた手と真っ白な文字が見る人に強い印象を与えています。



高校2年生 山内 麻耶 石川県 県立工業高等学校

描かれた手に持つ紙コップは、投票用紙が集まってできています。投票によって届ける私たちの声は一つ一つは小さい声かもしれませんが、それを紡ぐことによって夢を実現する。そんな作者の声が聞こえてきそうな作品です。



高校2年生 末永 大貴 長崎県 県立島原工業高等学校

ピクトグラムのように表されたシルエットと黄色い背景のコントラストが鮮やかに映ります。平面的な表現の中に描かれた立体的な投票箱がアクセントになっていて、動きと広がりを感じさせる表現になっています。



高校3年生 堀本 悠太 佐賀県 県立有田工業高等学校

バースデーケーキの上で炎を揺らす18の青色のろうそくが目に飛び込んできます。ケーキを丁寧に描きながら、あえて余白を大きく取り小さめに言葉を配置するという部分と全体を考えた構成が作品の印象を高めています。



高校3年生 東 春菜 鹿児島県 県立鹿児島工業高等学校

一つ一つの投票用紙が折り重なって「国民の願いをカタチに」につながっていく表現がシンプルながらも大変わかりやすいポスターです。一人一人の意思が正しく政治に反映される選挙を進めるメッセージが伝わってきます。

公益財団法人明るい選挙推進協会会長・  
都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（60人）

学	県	氏	学校
小学1 生	京都府	西井 大貴	京丹後市立弥栄小学校
	広島県	植松 花音	広島市立五月が丘小学校
小学2 生	群馬県	柳澤 怜央	ぐんま国際アカデミー初等部
	愛知県	伊藤 颯来	知多郡美浜町立布土小学校
小学3 生	長野県	長島 弘樹	安曇野市立明北小学校
	新潟県	田中 杏花	新潟市立女池小学校
小学4 生	愛知県	河辺 汐音	北設楽郡設楽町立清嶺小学校
	佐賀県	松本 空斗	唐津市立大良小学校
小学5 生	群馬県	高橋 杏	高崎市立岩鼻小学校
	愛知県	芳金 愛悠	刈谷市立衣浦小学校
	三重県	岡野 日葵	伊勢市立小俣小学校
	福岡県	竹内 琴香	糟屋郡新宮町立新宮小学校
小学6 生	岩手県	塩井 琴音	紫波郡紫波町立日詰小学校
	岩手県	大坪 一颯	紫波郡紫波町立長岡小学校
	埼玉県	安田 はなの	戸田市立戸田南小学校
	東京都	吉田 美咲	中央区立月島第二小学校
	東京都	齋藤 航太	渋谷区立上原小学校
	山梨県	長谷部 蒼葉	南アルプス市立白根東小学校
	山梨県	名取 和姫	南アルプス市立小笠原小学校
	兵庫県	大西 菜々穂	加古川市立浜の宮小学校
	兵庫県	今井 理瑛	加古川市立西神吉小学校
中学1 生	群馬県	金田 翔希	高崎市立吉井西中学校
	埼玉県	志田 晴海	飯能市立飯能第一中学校
	福井県	南部 敏矢	吉田郡永平寺町立上志比中学校
	香川県	竹内 きら	綾歌郡綾川町立綾南中学校
	福岡県	田代 みはね	福岡市立香椎第二中学校

学	県	氏	学校
中学2 生	山形県	沖田 乃彩	西置賜郡白鷹町立白鷹中学校
	埼玉県	津久井 瑛子	上尾市立西中学校
	東京都	佐藤 太月	葛飾区立金町中学校
	山梨県	荻野 真緒	南アルプス市立白根巨摩中学校
	三重県	舌古 三奈美	度会郡南伊勢町立南勢中学校
	大阪府	長田 有紗	高槻市立川西中学校
	島根県	大島 唯颯	安来市立第三中学校
	福岡県	松永 和丸	福岡市立片江中学校
中学3 生	北海道	齋藤 夏州	札幌市立新陵中学校
	岩手県	上野 澄恋	北上市立上野中学校
	宮城県	安齋 詩寧	仙台二華中学校
	栃木県	鈴木 ひかり	さくら市立氏家中学校
	東京都	小山 穂高	北区立赤羽岩淵中学校
	愛知県	市原 咲耶	瀬戸市立水野中学校
	兵庫県	橋 真里	加古川市立神吉中学校
	奈良県	上田 基晴	磯城郡田原本町立田原本中学校
	福岡県	角 祐菜	糸島市立二丈中学校
高校1 生	秋田県	田中 七望	県立増田高等学校
	千葉県	宝池 蕉英	八千代松陰高等学校
	神奈川県	高橋 直希	東京工業大学附属科学技術高等学校(東京都)
	新潟県	橋 沙良	県立新潟南高等学校
	愛知県	丹後 栞	県立津島高等学校
	島根県	梶野 和音	県立松江北高等学校
高校2 生	岐阜県	岡田 優奈	県立岐阜総合学園高等学校
	岡山県	出原 明日佳	県立倉敷南高等学校
	山口県	中尾 夏菜	県立山口高等学校
	香川県	水野 志映	県立高松工芸高等学校
	福岡県	姉崎 るみ	九州産業大学付属九州高等学校
	宮崎県	中武 明日香	宮崎学園高等学校
	鹿児島県	福 詩衣菜	県立徳之島高等学校
高校3 生	福島県	安部 莉永	尚志高等学校
	愛媛県	兵頭 凜香	県立今治工業高等学校
	大分県	田村 彩夏	県立芸術緑丘高等学校
	沖縄県	山里 梨華	県立開邦高等学校



小学1年生 西井 大貴  
京都府 京丹後市立弥栄小学校



小学1年生 植松 花音  
広島県 広島市立五月が丘小学校



小学2年生 柳澤 怜央  
群馬県 ぐんま国際アカデミー初等部



小学2年生 伊藤 颯来  
愛知県 知多郡美浜町立布土小学校



小学3年生 長島 弘樹  
長野県 安曇野市立明北小学校



小学3年生 田中 杏花  
新潟県 新潟市立女池小学校



小学4年生 河辺 汐音  
愛知県 北設楽郡設楽町立清嶺小学校



小学4年生 松本 空斗  
佐賀県 唐津市立大良小学校



小学5年生 高橋 杏  
群馬県 高崎市立岩鼻小学校



小学5年生 芳金 愛悠  
愛知県 刈谷市立衣浦小学校



小学5年生 岡野 日葵  
三重県 伊勢市立小俣小学校



小学5年生 竹内 琴香  
福岡県 糟屋郡新宮町立新宮小学校



小学6年生 塩井 琴音  
岩手県 紫波郡紫波町立日詰小学校



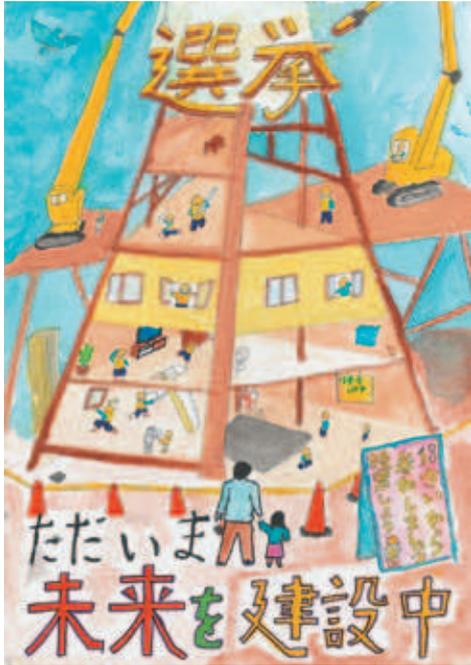
小学6年生 大坪 一颯  
岩手県 紫波郡紫波町立長岡小学校



小学6年生 安田 はなの  
埼玉県 戸田市立戸田南小学校



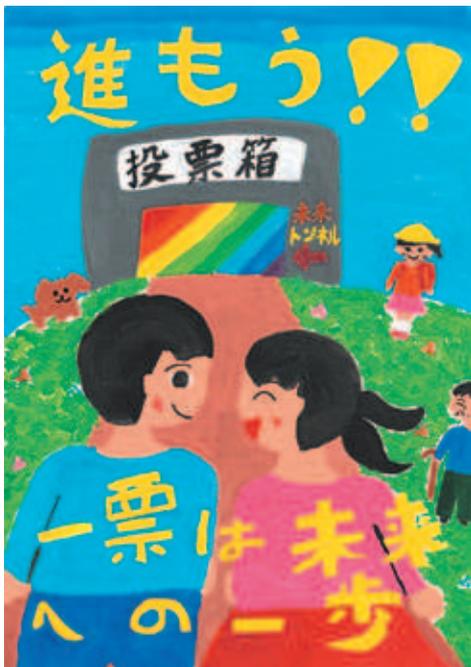
小学6年生 吉田 美咲  
東京都 中央区立月島第二小学校



小学6年生 齋藤 航太  
東京都 渋谷区立上原小学校



小学6年生 長谷部 蒼葉  
山梨県 南アルプス市立白根東小学校



小学6年生 名取 和姫  
山梨県 南アルプス市立小笠原小学校



小学6年生 大西 菜々穂  
兵庫県 加古川市立浜の宮小学校



小学6年生 今井 理瑛  
兵庫県 加古川市立西神吉小学校



中学1年生 金田 翔希  
群馬県 高崎市立吉井西中学校



中学1年生 志田 晴海  
埼玉県 飯能市立飯能第一中学校



中学1年生 南部 敏矢  
福井県 吉田郡永平寺町立上志比中学校



中学1年生 竹内 きら  
香川県 綾歌郡綾川町立綾南中学校



中学1年生 田代 みはね  
福岡県 福岡市立香椎第二中学校



中学2年生 沖田 乃彩  
山形県 西置賜郡白鷹町立白鷹中学校



中学2年生 津久井 瑛子  
埼玉県 上尾市立西中学校



中学2年生 佐藤 太月  
東京都 葛飾区立金町中学校



中学2年生 荻野 真緒  
山梨県 南アルプス市立白根巨摩中学校



中学2年生 舌古 三奈美  
三重県 度会郡南伊勢町立南勢中学校



中学2年生 長田 有紗  
大阪府 高槻市立川西中学校



中学2年生 大島 唯颯  
島根県 安来市立第三中学校



中学2年生 松永 和丸  
福岡県 福岡市立片江中学校



中学3年生 齋藤 夏州  
北海道 札幌市立新陵中学校



中学3年生 上野 澄恋  
岩手県 北上市立上野中学校



中学3年生 安齋 詩寧  
宮城県 仙台二華中学校



中学3年生 鈴木 ひかり  
栃木県 さくら市立氏家中学校



中学3年生 小山 穂高  
東京都 北区立赤羽岩淵中学校



中学3年生 市原 咲耶  
愛知県 瀬戸市立水野中学校



中学3年生 高橋 真里  
兵庫県 加古川市立神吉中学校



中学3年生 上田 基晴  
奈良県 磯城郡田原本町立田原本中学校



中学3年生 角 祐菜  
福岡県 糸島市立二丈中学校



高校1年生 田中 七望  
秋田県 県立増田高等学校



高校1年生 宝池 蕉英  
千葉県 八千代松陰高等学校



高校1年生 高橋 直希  
神奈川県 東京工業大学附属科学技術高等学校(東京都)



高校1年生 高橋 沙良  
新潟県 県立新潟南高等学校



高校1年生 丹後 栞  
愛知県 県立津島高等学校



高校1年生 桐野 和音  
島根県 県立松江北高等学校



高校2年生 岡田 優奈  
岐阜県 県立岐阜総合学園高等学校



高校2年生 出原 明日佳  
岡山県 県立倉敷南高等学校



高校2年生 中尾 夏菜  
山口県 県立山口高等学校



高校2年生 水野 志映  
香川県 県立高松工芸高等学校



高校2年生 姉崎 るみ  
福岡県 九州産業大学附属九州高等学校



高校2年生 中武 明日香  
宮崎県 宮崎学園高等学校



高校2年生 福 詩衣菜  
鹿児島県 県立德之島高等学校



高校3年生 安部 莉永  
福島県 尚志高等学校



高校3年生 兵頭 凜香  
愛媛県 県立今治工業高等学校

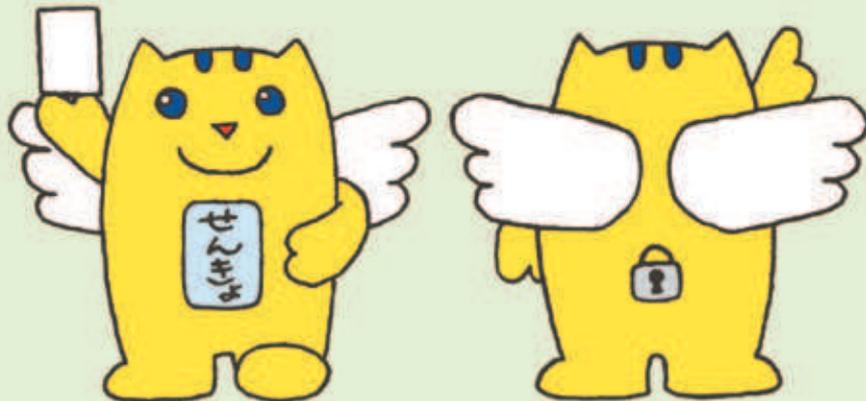


高校3年生 田村 彩夏  
大分県 県立芸術緑丘高等学校



高校3年生 山里 梨華  
沖縄県 県立開邦高等学校

## このキャラクターは？



名前は「選挙のめいすいくん」。

明るい選挙推進運動のイメージキャラクターとして2000年4月に誕生しました。

「明るい」の「明」と、「推進」の「推」を引用して名前が付けられました。

投票を呼びかけるイベントや街頭啓発などで活躍しています。

### 「選挙のめいすいくん」をよく見てみると…

実は「選挙のめいすいくん」は投票箱をモチーフにしたキャラクター。頭にあるトラのしま柄のような2本の縦線は投票用紙の挿入口なのです。また投票箱の鍵をモチーフにした尻尾や、明るい選挙の実現に向かっていくための翼もついています。

見かけた時はぜひ確かめてください。

## 明るい選挙啓発ポスターコンクール(平成29年度) 全国優秀作品集

発行日 平成30年2月19日

編集・発行 公益財団法人明るい選挙推進協会

住所 東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町7F

電話 03-6380-9891

ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>

メール [akaruisenkyo@mua.biglobe.ne.jp](mailto:akaruisenkyo@mua.biglobe.ne.jp)



宝くじは、  
みんなの暮らしに  
役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、  
学校や公園の整備をはじめ、  
災害に強い街づくりまで、  
みんなの暮らしに役立っています。

一般財団法人  
日本宝くじ協会  
<http://jla-takarakuji.or.jp/>



一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や  
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。